

## 公共経済学(Public Economics)

担当教員名	浦上 拓也	
学科・専攻, 科目詳細	都市システム工学科 5年 前期 2単位 学修単位 講義	
学科のカリキュラム表	専門科目 選択科目	
共生システム工学の科目構成表	基礎工学科目 社会技術系	
学習・教育目標	共生システム工学	D-2(100%)
	JABEE基準1(1)	(d)
科目の概要	近年, 公共部門の運営方法に対し批判が多い。しかしながら, 経済社会において, 消費者や企業といった民間部門に加えて, 政府などの公共部門の存在意義は大きい。とりわけ, 都市計画や社会資本整備などの分野においては, 公共部門は重要な役割を果たしている。本講義では, 公共部門の役割や行動について経済学的な視点から講義を行う。	
テキスト(参考文献)	参考文献は, 神取道宏(2014)『ミクロ経済学の力』, 日本評論社。 奥野信宏(2008)『公共経済学』第3版, 岩波書店。 衛藤卓也(監修)(2015)『現代交通問題考』, 成山堂書店。	
履修上の注意	公共経済学は公共セクターを主な分析対象とするので, 都市システム工学を専攻する学生にとっては重要な科目である。経済学の基礎知識を学習したうえで公共政策・交通政策について講義するので, 積極的に講義に参加してもらいたい。	
科目の達成目標	第1に, 経済学的なものの考え方を理解する。第2に, 経済学の基礎的なモデル(市場メカニズム)について理解する。第3に, 市場の失敗のケースとしての公共財について理解する。第4に, 公共投資の経済効果や問題点, そして今後の課題について理解する。第5に, 公共交通の現状と運営について理解する。	
自己学習	講義中に出された課題は必ず取り組むこと。また, 日頃から新聞に掲載されている財政や政府に関する記事を読むこと。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	成績評価は, 中間試験40%, 期末試験50%, 授業中の課題10%で評価する。60%以上達成したものを合格とする。	
連絡先		

授業の計画・内容	
第1週	<b>イントロダクション</b> 経済学とは何か、公共経済学とは何か、経済学的なものの考え方とは何かについて講義する。
第2週	<b>経済主体の合理的行動</b> 消費者および企業の合理的な行動について講義する。
第3週	<b>市場経済：需要曲線</b> 需要曲線の特徴について講義する。
第4週	<b>市場経済：供給曲線</b> 供給曲線の特徴について講義する。
第5週	<b>市場経済：市場均衡</b> 生産者余剰・消費者余剰および市場均衡について講義する。
第6週	<b>市場の失敗</b> 市場の失敗のケースとして外部不経済と公共財について講義する。
第7週	<b>公共財の最適供給</b> 公共財の社会的に望ましい供給水準の求め方について講義する。
第8週	<b>中間試験</b> 第1週から第7週の内容について試験する。
第9週	<b>社会的費用便益分析</b> 道路や公共施設を整備するか否かを評価するための費用便益分析の方法について講義する。
第10週	<b>税と公債</b> 公共施設整備の財源となる税および公債について講義する。
第11週	<b>公共投資と社会資本</b> 社会資本の種類や社会資本整備の近年の動向について講義する。
第12週	<b>公共交通：概論</b> 社会資本としての公共交通の課題について講義する。
第13週	<b>公共交通：鉄道</b> 公共交通のケースとして地方鉄道の現状について講義する。
第14週	<b>公共交通：バス</b> 公共交通のケースとして明石市におけるバス事業の民間移譲について講義する。
第15週	<b>講義のまとめ</b> 本講義のまとめを行う。
<b>期末試験</b>	